

COMPAS ノート ver.4

〇〇小学校 4年 〇〇〇〇支援計画実施要綱

| 項 目 | 対応(実際の内容) | 評価(指導結果、生徒の変化) |
|---|--|---|
| 1. 本人への対応 ① ABC 分析に基づく、情報提供(図の提示、口頭説明) ②望ましい行動、ギリギリ許せる行動の提案 ③必要な支援の提案 ④結果の説明・提案 | ① 口頭説明する ② 「こういうことはできそうかな」と提案する ③ 教師の対応の不十分さを先に言い、担任としてできることを提案する ④ できるようになると自信がつくし学力が上がることを話し、トークンを提案する。暴言の場合、約束を確認することも説明する | ①無言だったが、否定はしなかった。できないことが同級生に知られることが嫌だと言う ②問題数が多いと話した。目標を修正した ③解くに訴えはなかったが、問題数を減らすことを確認した ④ 受け入れた |
| 2. 支援チームと支援会議 ①名称(校務分掌) ②メンバー ③開催日 | ① 生活指導部会 ② 特別支援教育コーディネーター、教頭、SCを加える ③ 毎週火曜日 3時から校長室 | 評価日：〇月〇日 ① ② 途中から学習補助員にも入ってもらった ③ ほぼ予定通り開催した |
| 3. 支援チームによる支援計画の作成 ①修正版支援計画の提示 ②支援内容の確認：障害特性への対応、合理的配慮 | ① 図2を提示する ② 課題の問題数を減らす。座席を一番前にする | ① ② 本人の申し出と結果が良好なことから問題数を増やした |

| | | |
|--|---|--|
| <p>③支援内容の確認:学習支援 ④支援内容の確認：保護者支援 ⑤記録の方法 ⑥支援計画完成</p> | <p>③ 宿題は授業と同じにし、基礎の定着を計る</p> <p>④ トークンの説明をし、ごほうびをきめていただく。案として、親子での外出を提案する</p> <p>⑤ 課題を一人で遂行したか。先生を呼ぶ・暴言の回数を観察する</p> <p>⑥ 図3</p> | <p>③ 授業のポイントを復習するので、母親が関わらなくてもできるようになった</p> <p>④ トークンシステムを理解し、ポイントがもらえたことをほめているようだ。まだ外出はしていないがもうすぐ実施できるようである</p> <p>⑤ 課題プリントで実施評価ができた。呼ぶことは少なかった。実施1週目に暴言が見られたが、その後はほとんど見られなくなった</p> <p>⑥</p> |
| <p>4. 役割分担 ①支援の提供 ②結果への対応 ③障害特性への対応・合理的配慮 ④学習支援 ⑤保護者支援 ⑥記録</p> | <p>① 担任</p> <p>② 担任:ほめる、教える、ポイントを与える。教頭:クールダウン。保護者:ほめる、ご褒美を与える</p> <p>③ 担任</p> <p>④ 担任</p> <p>⑤ 担任</p> <p>⑥ 学習補助員</p> | <p>① 授業の前にルール確認をした。教師の指示表現を気をつけた</p> <p>② 感情的になることがなく、クールダウンは実施せず。保護者はポイントがもらえたことをほめているようだ</p> <p>③ 計画通り実施できた</p> <p>④ 計画通り実施できた</p> <p>⑤ 連絡ノートで定期的に情報共有した</p> <p>⑥ 教室の後ろで記録をとった。記録すべき行動があまり見られなかったため、他児童の学習支援を実施することが多かった</p> |